

平井一丁目・小松川四丁目地区



2025年 5月

第5号

まちづくりニュース



“まちづくりに関するアンケート” 結果のご報告

第1回～第3回のまちづくり協議会での検討内容をもとに、まちづくりに関するアンケート調査を実施しましたので、その結果をご報告します。

今後は、アンケート調査の結果を踏まえながら、まちづくりの方向性や具体的な取組み等、地区のまちづくりについて検討を進めていきます。

アンケートの実施概要

< 調査対象 >

- ・地区内に居住する方
- ・地区内の土地建物を所有する方

< 調査項目 >

- ・地区の暮らしの満足度
- ・今後のまちづくりの方向性
- ・回答者ご自身について

< 回答期間 >

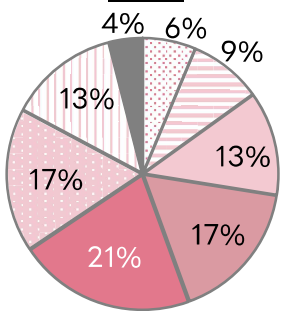
令和7年2月22日(土)～3月31日(月)

< 回収状況 >

配布数	地区内配布	1,929 件
	地区外郵送	281 件
	合計	2,210 件
回収数	378 件 (うち web 回答 50 件)	
回収率	17.1%	

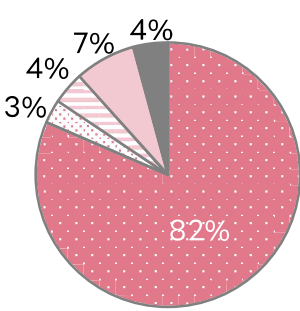
回答者の属性

年代



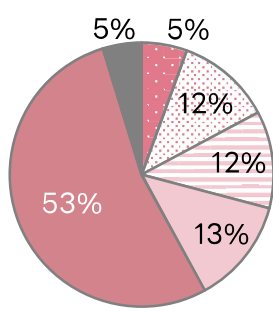
- 20歳未満
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳以上
- 未回答

地区との関わり



- 地区内に居住
- 地区内に居住・経営
- 地区外に居住・地区内で経営
- 地区外に居住・地区内に所有
- 未回答

居住年数

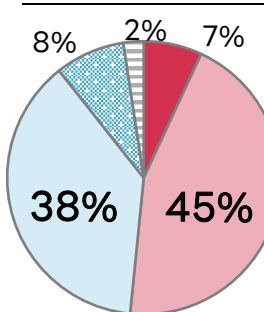


- 1年未満
- 1～4年
- 5～9年
- 10～19年
- 20年以上
- 未回答

■地区の暮らしの満足度について 6つのテーマに関する満足度と、選択肢（協議会で出された意見を基に作成）の中から共感できるものを選んでいただきました。 ※自由意見は一部を抜粋

満足度の凡例： ■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■未回答

建物の安全性

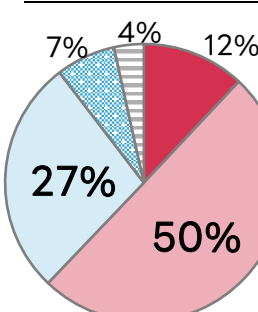


共感できるもの
自由意見

建物が密集し地震や火災が心配	258
古い建物が多く倒壊や火災が心配	183
管理されていない危険な空き家がある	86
新しい住宅が増えてきている	137
その他	24

- ・管理不全の空き家など、先日の火事の様な事が起きないか心配であり、冬は特に火災が増えるため不安
- ・耐震化や空き家など不安はあるが、経済的に解決できない人も多いのではないか

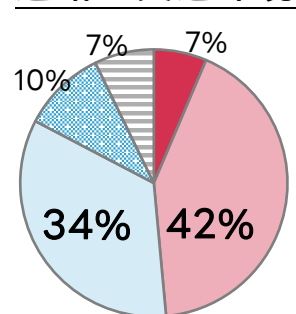
公園・みどり



公園が少ない	96
全体的に緑が少ない	132
河川敷はあるが身近に感じない	117
庭木などの緑の空間に癒される	85
その他	41

- ・公園も緑も適度にあるように思う
- ・幼い子も楽しめる身近な河川敷になると良い
- ・子どもがウキウキする公園があると良い

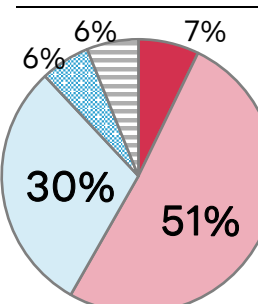
道路・交通環境



狭い道路が多い	266
見通しの悪い交差点が多い	145
道路沿いに危険なブロック塀がある	63
道路上にもものが出ている箇所がある	120
広い道路は速度を出す車が多く危険	83
狭い道路(路地)は歩行者にとって安全な空間	57
その他	53

- ・一方通行により車の通行量が抑えられている
- ・一方通行を逆走する車両を見かける
- ・狭い道路でスピードを出す車が多く危険
- ・自転車マナーが悪く歩道を走行していたりする

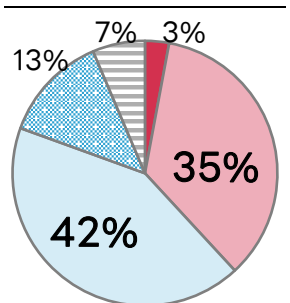
住環境・景観



まち並みが整っていない	79
ゴミ出しのルールが守られていない	114
商店が減ってきている	263
高い建物が少なく暮らしやすい	135
静かで暮らしやすい	178
その他	43

- ・住宅が多く、歩行者にとって安心安全
- ・静かな住宅街は保って欲しい
- ・ワンルームや狭小アパートが増えている
- ・民泊があり人の出入りが多く心配

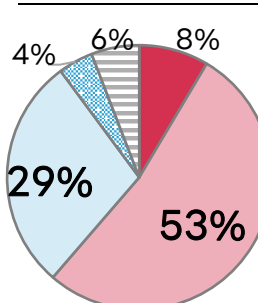
防災・防犯



地震時に避難できる場所が近くにない	123
消火栓や防火水槽が不足している	77
水害時の避難に不安がある	273
夜間、人通りが少なく暗い道がある	193
その他	35

- ・避難できる頑丈な建築物が近くにない
- ・災害時に集まれる公園があると良い
- ・災害時の訓練を外国籍の方も一緒にできると良い

コミュニティ



新しい住民が増えて活気がある	25
ご近所で声をかけあえる関係性がある	120
新旧住民同士のコミュニケーションがうまく取れていない	147
高齢化が進んでいる	265
その他	28

- ・地域の催し物やイベントがたくさんある
- ・日本人と外国籍の方が交流できる場があると良い
- ・コロナ禍以降近所の交流が少なくなった

■地区のまちづくりの方向性について ①～⑱の選択肢の中から、重要だと思うものを選んでいただきました。 ※太字：150名以上が選択した方向性 太字+下線：200名以上が選択した方向性

建物の安全性

①火災に強い建物への建替え	169
②空き家の適切な管理・除却	186
③地震に強い建物への改修・建替え	207

住環境/景観

④まち並みを整え、ゆとりある住環境を形成	139
⑤ごみ出しルール等を普及するための取り組み	130
⑥商店街を活性化するための取り組み	227

道路/交通環境

⑦地震時の緊急車両の通行や避難のための安全な道づくり	224
⑧道路上や沿道の工作物等の設置制限や撤去	93
⑨見通しの悪い交差点の解消	134
⑩車両の通行形態（一方通行・相互通行）の検討	99
⑪車両の速度制限を促す対策の実施	104

公園/みどり

⑫今ある公園の維持と新たな公園の設置	169
⑬今あるみどりの維持と緑化の取組み	183

防災/防犯

⑭地震時に一時的に避難できる場所の確保	209
⑮災害時に地域で対応できる体制づくり	155
⑯火災時の消防水利（消火栓や防火水槽）の確保	128

コミュニティ

⑰水害に備えた設備や施設の確保と円滑な避難方法の検討	234
⑱地域での助け合いのための取組	166
⑲地域交流を促進するための機会づくり	103

まちづくり協議会での検討状況

令和7年3月21日に開催した第4回まちづくり協議会では、16名の方々にご参加いただき、第3回に引き続き、今後地区で進めるべきまちづくり（＝まちづくりの方向性）について検討を行いました。



当日の議題

- ① 第3回協議会の振り返り
- ② アンケート結果（時点版）の報告
- ③ まちづくりの方向性の検討
- ④ 今後の予定

まちづくりの方向性に関する意見※一部

建物の安全性

- ▶ 燃え広がりを抑えるためにも、新たな防火規制を検討した方が良いのでは
- ▶ 建物の不燃化は一定程度進んでいると感じる
- ▶ 空き家は減っており対策の重要度は低そう

住環境・景観

- ▶ 現状の街並みや住環境を維持したい
- ▶ ごみ出しルールを周知する取組が必要
- ▶ 商店街のにぎわいを向上させたい

道路・交通環境

- ▶ 建替えの際に高いブロック塀が建たないようにルール化するべき
- ▶ 子どもや孫世代にとっての地区の安全性を見据えた各種ルールづくりが必要

公園・みどり

- ▶ 地区の貴重な緑を残していきたい
- ▶ 緑化は必要だが、維持管理の懸念がある
- ▶ 公園を新しく整備できると良い
- ▶ 今ある公園を活用しやすくしたい

防災・防犯

- ▶ 地震や火災時に、一時的に避難できる場所を充実させたい
- ▶ 水害時の避難について地域で話し合っ
て訓練するなど、ソフトの取組も必要

コミュニティ

- ▶ 住民同士が交流できる機会を設けるなど、地域でのコミュニケーションを促進できる取組を進められると良い

第5回まちづくり協議会は6月上旬（平日の夜）に開催予定です！

※過去のニュースから今後のスケジュールをご覧ください。
詳しくは右記の二次元コードからご確認ください。



お問い合わせ

※このお知らせは平井一丁目の一部、小松川四丁目にお住まいの方々や権利をお持ちの方々にお配りしています。

わからないことがありましたら、ここに連絡してください。

江戸川区都市開発部まちづくり調整課まちづくり計画係
電話 03-5662-6438(直通) ファックス 03-5607-2267